令和４年６月９日

創立１００周年のご挨拶

平素は私ども新宮信用金庫をご愛顧いただき、厚く御礼申し上げます。
おかげさまで、当金庫は、令和４年６月９日に創立１００周年を迎えることができました。これもひとえに、地域の皆さまのご支援ならびに先輩諸氏のご努力の賜物と深く感謝申し上げます。

大正１１年６月９日「有限責任新宮信用組合」として、熊野地の阿須賀神社前にて事業を開始しました。その当時の経済は、不況に見舞われ中小商工業者の金融が非常に逼迫しており、有志の方々が相寄り、共存共栄と相互扶助の精神を基調として産業組合法に則って設立されました。その後、昭和２６年１０月２０日に「新宮信用金庫」へと改組し現在に至ります。

創業以来の１００年間は、金融恐慌、戦争、大震災など、決して平坦な道のりではありませんでしたが、当金庫の経営理念『地元の発展のために よい企業 よい家庭 よい社会の建設に金庫の力を結集しましょう』のもと役職員が高い志を持ち地域への貢献を使命として歩み続けてまいりました。

今後も、更なる１００年に向けて、貸出金を中心とした確固たる収益基盤を確立するとともに、地域に対する責任と使命を自覚し、その役割を果たすため、自らを変革してまいります。「ひたむき　こだわる　正々堂々　礼儀正しい」を金庫経営の原点とし、「理念とソロバン」のバランスを図り、健全経営を実践してまいります。当地方に本店を置く唯一の地域金融機関として、役職員一同が邁進していく所存でございますので、今後とも一層のご支援・ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

新宮信用金庫
理事長　浦木　睦雄